



愛媛県で豚熱（CSF）が発生しました

国内 94 例目

11月1日、愛媛県の養豚農場において豚熱の患畜が確認されました。

平成30年以降、四国地方での発生は初めてです。

農場へ豚熱ウイルスが侵入しないよう、引き続き飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに異常豚の早期発見・通報をお願いします。

発生概況	所在地：愛媛県四国中央市 飼養状況：約60頭
経緯	・愛媛県は、10月31日（木）、同県四国中央市の農場において離乳豚及び肥育豚の死亡の増加がみられる旨の通報があったため、当該農場に立ち入り、検査を実施しました。 ・愛媛県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、11月1日（金）、豚熱の患畜であることが判明しました。

豚熱ウイルスを農場へ侵入させないために

長野県畜産広報第677号でもお知らせしているとおり、県内では野生いのししの遺伝子検査陽性事例が確認されており、また、近隣県でも同様であることから、農場へ豚熱ウイルスが侵入するリスクは高い状況が続いています。

引き続き、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、以下を参考に効果的な消毒を行い、ウイルスの侵入防止に努めてください。

1 畜舎周囲（地面）

消毒薬：消石灰

使用方法：土壌または床面が白くなるように散布し、維持する
粉末の状態で1m²あたり0.5~1.0kgを直接散布

注意点：雨や長時間の放置で効果がなくなる。まき直しが必要

2 車両

消毒薬：逆性石鹼

使用方法：有機物を除去した後、希釈した薬剤を適量散布

注意点：タイヤ周り、フロアマットの表面・裏面を念入りに

3 踏込消毒槽

消毒薬：ハロゲン塩（塩素系）、複合（フェノール系）、両性せっけん

使用方法：有機物を除去した後、希釈した薬剤に浸漬（~30秒間）

注意点：汚れたら交換、汚れていなくても毎日交換

消毒薬は、有機物（泥、排泄物等）や紫外線、低温により効果が低減します

家畜の異状通報、飼養衛生管理に関する相談は家畜保健衛生所まで

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁園芸畜産課	026-235-7232